

教科(科目)	国語 (現代の国語)	単位数	3単位	学年(コース)	1学年 (普通科)
使用教科書	第一学習社 『高等学校 現代の国語』				
副教材等	浜島書店『論読現代文』、浜島書店『常用漢字の1・2トライ』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する。</p> <p>①「深慮にして実践」「誠実にして勉強」「和親にして敬愛」の教育目標の下、物事に主体的に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>②自身の健康を保ちつつ、社会的な自立を目指し、多様性を尊重しながら他者と協働して取り組む力を育成する。</p> <p>③教科横断的な視点を持ち、様々な学習活動をとおして、創造力、行動力、コミュニケーション能力を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。</p> <p>①生徒一人ひとりの目標や進路希望が実現できる教育課程を編成し、教育活動を展開する。</p> <p>②3年後の進路を見据えた学力の定着と活用に向け、ICT機器を活用するなどして、主体的・対話的で深い学びと探究的な学習を行う。</p> <p>③自己の在り方生き方を探究するため、「総合的な探究の時間」を主軸に、課題発見・解決、自己表現の育成に取り組む。</p> <p>④様々な状況や環境に対応し自己の力を向上させるため、ボランティア活動やインターンシップ、外部検定試験など、生徒が自ら挑戦できる機会となる情報を積極的に提供する。</p> <p>⑤学校行事や部活動などの生徒の主体的な活動の支援に向け、安全・安心な教育環境に努める。</p>

2 学習目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
 - ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。
 - ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

- ①常用漢字の習得や文学の歴史背景など、基礎学力や一般常識の充実を図る。
- ②多様なものの見方を学習し、社会の変化に対応できる知識や思考力を養う。
- ③上記①②を踏まえ、自己の知識や考えを他者に的確に伝えられる力を育む。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語文化に対する理解を深めている。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・読書に親しんでいる。 ・自己を向上させようとしている。 ・言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査、小テストの内容 ・提出物の内容 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の内容 ・提出物の内容 ・授業中の発言、発表 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の課題の取り組み状況 ・課題プリント、提出物等の取り組み内容や提出状況 ・振り返りシート などから評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	「ものの見方」	5 読むこと	中村桂子 「生きものとして生きる」	・内容や構成、論理の展開を的確に捉える ・人間の生き方について、自分に照らして考える。	5	授業中の状況 提出物
	「自己と他者」	7 読むこと	平野啓一郎 「本当の自分」幻想	・内容や構成、論理の展開を的確に捉える。 ・説得力を持たせる論の展開について考える。 ・文章中の情報の相互関連を行い内容を解釈する。	7	小テスト 授業中の状況 提出物
5	中間考査	1			1	テスト
	文学のしるべ	15 話すこと 聞くこと	芥川龍之介 『羅生門』	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩などの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する	15	小テスト 授業中の状況 提出物
7	期末考査	1			1	テスト
	比較文学	7 書くこと	山崎正和 「水の東西」	・内容や構成、論理の展開を的確に捉える。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。	7	小テスト 授業中の状況 提出物
	伝える力を培う	3 書くこと	書き方の基礎 レッスン 製品の取り扱い説明書	・表記、表現の基本ルールを理解する。 ・情報を的確に説明する方法を理解する。	3	小テスト 授業中の状況 提出物
8	2学期課題テスト	1			1	テスト
	日本文化	5 書くこと	港千尋 「無彩の色」	・内容や構成、論理の展開を的確に捉える。 ・文章中の情報の相互関連を行い内容をまとめる。	5	授業中の状況 提出物
9						

9	科学・技術	9 読むこと	池内了 「文化」として の科学	・内容や構成、論理の展開を的確に捉える。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。	9	小テスト 授業中の状況 提出物
	中間考査	1			1	テスト
10	文学のしるべ	1 0 話すこと 聞くこと	夏目漱石 『夢十夜』	・考えや事柄を的確に伝わるように根拠の示し方や説明の仕方を工夫する ・比較や言い換えなどの修辞を理解する。	1 0	小テスト 授業中の状況 提出物
11	情報・メディア	1 0 書くこと	林香里 現代の「世論操作」	・内容や構成、論理の展開を的確に捉える。 ・情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。。	1 0	小テスト 授業中の状況 提出物
12	期末テスト	1			1	
	事実と意見	6 書くこと	坂本俊生 「私作り」とプ ライバシー	・事柄が的確に伝わるように表現の仕方を工夫する。 ・文章を分析的に読み、事実から情報を抽出し、意見を形成していく論理の展開について理解する。	6	小テスト 授業中の状況 提出物
1	3学期課題テスト	1			1	テスト
	文学のしるべ	1 3 話すこと 聞くこと	村上春樹 「鏡」	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。	1 3	小テスト 授業中の状況 提出物
2	学年末考査	1			1	テスト
	資料読み比べ	7 書くこと	日本の労働問題	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用する。	7	授業中の状況 提出物
	学年末の振り返り	1			1	提出物

課題テスト・考査は「書くこと」の領域

計 105 時間 (50 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 3 8 時間	B 「書くこと」 4 6 時間	C 「読むこと」 2 1 時間
-----------------	-------------------------	--------------------	--------------------

7 課題・提出物等

- ・各月 2～3 回漢字テストがあり、副教材より出題する。
- ・定期的にノートを提出する。
- ・見附市文芸祭作品を提出する。
- ・長期休業中の課題（副教材）を提出する。
 - 1 学期…「論読 現代文 1」 ①②③④ P6～P13
 - 夏休み…「常用漢字の 1・2 トライ」 P12～P23 (1 学期の授業残り)
 - 「論読 現代文 1」 ⑤～⑩ P14～P33
 - 冬休み…「常用漢字の 1・2 トライ」 P38～P47 (2 学期授業残り)
 - 春休み…「常用漢字の 1・2 トライ」 P54～P63 (3 学期授業残り)
 - 「論読 現代文 1」 ⑪～⑮ P34～P47
- ・長期休業後は課題テストを行う。

8 担当者からの一言

世の中にある様々なテーマについて、考えを深めたり発見したりするなどし、社会へ出て行く前に少しずつ現代人としての力を蓄えてもらいたいと思います。

